

一般質問通告書

通告順番 1 番

通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 急傾斜地などの安全対策と災害弱者を確実に避難させるための取り組みについて	(1) 町有地などの斜面や法面等の危険度調査を実施し、土砂災害の恐れのある高リスク地域への情報提供及び、自力での避難が難しい高齢者や障がい者等の災害弱者の避難対策を強化するため個別避難計画の策定や訓練及び、マイタイムラインの周知を進めるべきではないか。	町 長
2. 防災士育成事業の取り組みについて	(1) 地域の防災リーダーを育成するため、防災士の資格取得を支援する地域防災リーダー育成事業を再度、実施するべきではないか。	町 長
3. 運転免許証を自主返納した高齢者をサポートする取り組みについて	(1) 運転に不安を感じるようになり、運転免許証を自主返納した高齢者を対象に、タクシーやバスなどの公共交通機関や、電動自転車などを利用しやすいようなサポートをするべきではないか。	町 長
4. スマホの使い方教室の取り組みについて	(1) オンライン手続きやキャッシュレス決済等の電子申請サービスの使い方を、丁寧に教えてもらえる無料のスマホ教室を小学校区単位で、公民館などの身近な場所を会場として開催するべきではないか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 地域の活性化を図る公園の整備計画について</p>	<p>(1) 平成29年に実施した住民意向調査の中で「地域の公園が交流の場となっているか」について、全ての校区で「どちらともいえない」の回答率が3割～4割を占めている。「そう思う」＋「まあそう思う」の回答率が、「あまり思わない」＋「思わない」の回答率と比較して高いのは、大津東小学校区、大津小学校区、美咲野小学校区、室小学校区となっている。（大津町都市計画マスタープラン87p）</p> <p>魅力ある公園づくりは地域コミュニティの活性化につながるとともに子供たちの知を育み、心の安定を育み、スポーツ等を通じ健康な体を育む。</p> <p>以上の点を踏まえ下記のとおり伺う。</p> <p>①交流の場としての公園の魅力化について施策は。</p> <p>②身近なスポーツを実施する場として利用可能な環境が解放されているか。</p> <p>③新しいジャンルのスポーツを行う人々が年々増加している中、新たな受け皿の整備を行い、地域振興の一助とする考えはないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 2 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 風通しの良い行政職員の勤務環境構築について</p>	<p>(1) 大津町役場に勤務する上で、職員はストレスを感じることなく勤務する環境にあるか。特にパワーハラスメントについて下記のような事項がないか。</p> <p>①上司による過剰な勤務要求、暴言はないか。</p> <p>②部下による情報提供の拒否、遅延はないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 地元の高校に企業が求める科の新設を</p>	<p>(1) 大津町には県立大津高校・県立翔陽高校・県立大津支援学校の3校が有る。今回の質問の考えは、位置付けとして3校とも大津町立の大津高校・翔陽高校・大津支援学校で捉えて問う。 又、地元企業が求めている人材を育成するクラス編成を県にお願いすべき時期にあると思う。企業も日々変化をしなければ生き残れない。受験生も魅力ある専門科の高校を目指すと思う。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>2. 南阿蘇鉄道とスポーツの森新駅について</p>	<p>(1) 高森と肥後大津直通を南阿蘇鉄道は検討されているが</p> <p>①高森町・南阿蘇村との話し合いの進捗状況。</p> <p>②新設予定のスポーツの森駅の進捗状況。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 工業団地造成を考えているか</p>	<p>(1) 世界的な半導体製造大手が菊陽町の工業団地に進出予定である。その関連企業が熊本県近郊に進出が予想される。大津町はすぐ隣町なので、受け皿になると思う。その受け皿になる工業団地造成を町はどう取り組むかを問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 地域運営組織の形成について</p>	<p>(1) 令和元年に閣議決定された「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」では地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する地域運営組織の活動を支援するとあり、また令和6年までに達成すべき重要業績成果指数（KPI）として住民の活動組織（地域運営組織）の形成数7000団体を目指すとする。現在の少子高齢化の進展や、それに伴う集落機能の低下などから地域における共助により支え合いの必要性が高まり、さらにはコロナ禍において生じた様々な地域の課題への対応として地域運営組織の果たす機能の重要性が高まっている。以上踏まえ2点伺う。</p> <p>①少子高齢化・人口減少や地域課題の多様化、広域化等、自治会・町内会だけでは従来の役割を果たすことが困難な地域が出てきていないか。</p> <p>②地域課題に共同で取り組むため自治会やNPO、企業、老人クラブなど多様な主体が連携・協力して地域課題の解決に取り組むため、小学校区ごとの組織「地域運営組織」が必要ではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 高齢者支援について</p>	<p>(1) 日本は少子高齢化に歯止めがかからず、特に問題なのが65歳以上の高齢者7人に1人が認知症と言われ働き盛りの世代が、若年性認知症を発症することもあり、誰しものが認知症とは無関係ではなく、また認知症についての理解、家族の悩みなどを、行政が家族をサポートしながら、まちのみんなで認知症を受け止め支えることができる「まちづくり」を推進するべきではないか。また、高齢者の総合相談、権利擁護、介護予防のケアマネージメント等、地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進する中核的な機関であるセンターの体制強化を図る必要があるのではないかと、以上踏まえ伺う。</p> <p>①地域包括支援センターの機能強化として小学校区（地域運営組織）ごとのサブセンター・ブランチの創設を提案する。</p> <p>②認知症の早期診断のために認知症診断費用全額無料など認知症安心プロジェクトを提案する。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 町営住宅 空室改善と町営住宅入居者の待機改善による町の家賃収入確保について</p>	<p>(1) 町営住宅における修理待ちの戸数（空室）が、全体で92戸数有り今後早急に対応すべきではないのか。また計画的な修理（修繕）をすべきではないのか。</p> <p>(2) 町営住宅入居者待機、改善を計り住民のニーズに答えるべきではないのか。上記見直し改善により町営住宅の空室ゼロ、町の家賃収入確保。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 道路ネットワークの見直しが必要	<p>(1) 半導体製造企業TSMCが菊陽町第二原水工業団地に進出計画が発表された。全国的に歓迎されることだが、大津町としても関連産業の進出や従業員の住宅など当然対応されると思われる。その対応策で特に急がれるのが、既存の道路の渋滞激化と歩行者も含めた安全対策、さらに大津・菊陽間の広域道路新設が必要だと思う。都市計画マスタープランの見直し追加が必要ではないか。</p>	町 長
2. 町の表玄関 大津交差点の改良を	<p>(1) 新庁舎が完成し駐車場外構工事も完成が見えてきた。残念ながら町の玄関口ともいえる国道57号大津交差点南側の改良は懸案のままとなっている。県道202号線の拡幅がネックだと思うが、店舗南側の水路を暗渠にして南側から敷地への出入りができるように交渉はできないだろうか。</p>	町 長
3. 町営住宅の駐車場料金収納の改善	<p>(1) 町営住宅の駐車場料金収納で、現在管理組合が現金徴収している。家賃と一緒に口座引き落としにしてほしいとの要望が寄せられている。入居者が毎月現金で集金する仕組みは、事故も想定され、一般社会常識からしても負担が大きいと思われる。大津町町営住宅条例では駐車場の管理規定が制定されていない。公営住宅法の改正（平成8年）により、駐車場は共同施設として位置づけられ、整備に関して事業主に努力義務が課せられている。住宅家賃(使用料)と併せて、町が口座引き落としなどで対応すべきではないか。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 大村 裕一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. GAP認証について</p>	<p>(1) 国内の食料自給率が37%と低迷、農業従事者も2015年からの5年で45万人減少している中、経営体ごとの大規模化は喫緊の課題となっている。GAP認証は大規模化、販路拡大の一助となる重要なものであるがGAP認証を大津町として推進していく考えはないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 8 番
 通告者 佐藤 真二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 「宇宙からいも」の移設は再考すべきではないか</p>	<p>(1) 「宇宙からいも」を移設する方向で検討しているようだが、この作品はサイトスペシフィックアート（置かれる場所の特性を活かした作品）ものであり、移設することで作品の意味と価値が損なわれる。著作権を尊重する立場で、扱いを再考すべき。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 不登校児童・生徒への支援の拡充が必要</p>	<p>(1) 不登校児童・生徒を「出席扱い」とすることで支援する基準が定められた。取り組みに敬意を表する。 その支援をさらに進める積極的な取り組みが必要と考える。</p> <p>① 「出席扱い」の取り扱いの現状は。</p> <p>② 「指導要録上の出席扱いにかかる積極的な対応」のためにどのような取り組みを進めるか。 ア. 学校や校長の理解を深めるための取り組みは。 イ. 民間施設と連携し、支援を充実させるための取り組みは。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 教育の発達段階に応じた負荷について	(1) 子どもの体力認知負荷理論	町 長 教 育 長
2. 振興総合計画と町長の選挙公約について	(1) 法的位置づけ (2) 選挙ビラ (3) 無投票	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. 人口増加の施策	<p>(1) 発展している地域の人口が増加する。人口が増えればさらに求心力が増す。新しい店舗、飲食店ができ、それを目当てに人が集まる。利便性が増して、住宅がふえる。良い循環が出来上がる。合志市、菊陽町は人口が増加している。住宅会社による街の住み心地ランキングでは一位菊陽町、二位合志市、大津町は九位であった。熊本地震後に南郷谷への連絡橋として阿蘇長陽大橋、新阿蘇大橋が、阿蘇谷への連絡道路として国道57号北側復旧道路が完成した。阿蘇大津間の交通の利便性は向上した。南阿蘇鉄道の大津乗り入れも現実味を帯びてきた。いま大津に移住する人は阿蘇の方が多そうである。菊陽にできる予定のTSMC従業員のための住宅用地が必要になるだろうという期待もある。大津町が大きく飛躍するチャンスである。菊陽町、合志市に負けないように頑張ってもらいたい。町サイドから積極的に仕掛けてもらいたい。金田町長のリーダーシップに期待したい。</p> <p>(2) 今の大津町は住宅地を必要としている。そこに立ちはだかるのが農地法から導かれる農地と農振地の規制である。この規制を緩めないと住宅地は増えない。これは学校区の問題ともからんでくる。規則があるからと言われるかもしれないが、規則を作ったのも人間だし、廃止するのも人間である。過去にとらわれず、時代に合うようにするのが改革ではないのか。国の法律ではあるが、この法律が日本の発展を阻害している一つの要因だと私は思っている。</p>	町 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. 職員のやる気について	<p>(1) 先日職員採用試験が行われた、町長は「変化の激しい現代において、町職員として住民の皆様の暮らしを守り町を発展させるためには町に必要なものは何かを自ら考えて提案、行動できる前向きさや情熱が必要です。また、役場一丸となって住民の皆様と町をより良くするためには、チームワークで仕事をするうえでの他人の意見をまずは受け止められる素直さや柔軟さも大事です。大津町では、そうした資質を持ちながら「全体の奉仕者」である公務員としての仕事の意味合いに価値を見出し、町の発展を共に喜べる、そして責任感をもって仕事に臨むことができる一生懸命な人を求めています」と述べられている。面接が大事だとは思いますが町長の思いは実現できたか。</p> <p>(2) 町長の公約はトップダウンとして部長、課長に指示されたと思うが、うまくいっているか。</p> <p>(3) 議員が一般質問を提出すると、関係課の課長が聞き取りにくる。課長が答弁を下書きをしているようだが、議員は課長の意見、答弁を求めているのではない。町長が最初に中身を読み町長の方向性を課長に指示されたほうがよいのではないか。</p>	町 長 教 育 長

一般質問通告書

通告順番 10 番
 通告者 坂本 典光 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 実行委員会方式</p>	<p>(1) 大きなテーマは各担当課に任せるのではなくその道に詳しい人、企画力のある人、実行力のある人、責任感のある人を集めて実行委員会で進めた方がよいような気がするが町長の見解を求める。</p>	<p>町 長</p>